



日立みらいイノベータープログラム 2023年度 教員ミーティング実施レポート

日立財団では、みらいイノベータープログラムを実施いただいた先生方と今年度の成果をふりかえり、プログラムの価値、今後に向けた改善点、児童の成長について共有するオンラインミーティングを実施しました！それぞれの取り組みから、共通の課題への対応や探究の充実のヒントを学び合う貴重な時間となりました。

実施概要

実施日時：2024年2月9日（金）16：00～17：30（オンライン開催）

参加者：戸田市立笹目小学校 5年担当 栗原先生 小林先生
日立市立大みか小学校 5年担当 小林先生
豊後高田市立桂陽小学校 5年担当 花崎先生 結城先生
「日立みらいイノベータープログラム」事務局スタッフ
*学校50音順、学年は2024年2月当時



プログラムのここがよかった！👍

プロからの評価が何度も！

日立社員講師からの評価により、新たな改善の視点だけでなく、課題解決に向かう姿勢を育てる機会になりました。

課題解決の方法が学べる

問題発見のトレーニングと、自分たちの課題探究活動の二部構成で、他教科、他活動でもずっと使えるスキルの習得につながりました。

アレンジ可能な豊富な教材

フォーマットやチェックリストなど、ワークシートの内容や使い方がアレンジできたので、児童の状況や、取組内容に合わせて活用できました。

◆各校の取り組み◆

戸田市立笹目小学校

育成したい力

主体的に行動する力・課題解決力

課題解決はもちろん、国語で学習する話し合い方、インタビューの方法や考えのまとめ方など、教科学習の内容を深めるいい活動になりました。教員同士コミュニケーションを取り、他教科連携で実施時間を確保しつつ、学んだことをグループワークやプレゼンでいかすことができるように進め方を工夫しました。

日立市立大みか小学校

育成したい力

主体的に行動する力・分析力

教員自身が経験のない探究学習をどのように進めたらよいか悩むこともありましたが、本プログラムの計画に沿って活動を進めると児童の意識や行動が明らかに変わっていききました。探究は、教員が進めるものではなく、児童自身が必要な活動や準備を考えるもので、その力が児童にはある、と実感できるよい機会でした。

豊後高田市立桂陽小学校

育成したい力

主体的に行動する力・相手のことを考える力

今の子どもたちは「発表」には慣れており、「中間発表」で達成感をもってしまいう児童もいました。そこで、課題解決のプロセスにおける中間発表の意味と、フィードバックの内容を確認する授業を実施。プロからのフィードバックを深掘りし自分たちに何が足りないのか具体的に考え、次の目標設定をする機会を設けることで、探究のモチベーションが継続されました。



実施校の先生方から全国の先生方へ

「日立みらいイノベータープログラム」だからこそ見られた！子どもたちの姿



考えることを楽しむ

自分たちで考える力がついて、考えることを楽しむように。本活動と並行し、学んだことをいかして「6年生を送る会」の企画や準備する活動につなげています。進級して新しいことに挑戦するのも楽しみにしています。

多様性を認め、いかす仲間になる

苦手なことに挑戦したり、グループメンバーの個性に配慮して役割分担や発表の方法を工夫したり、児童同士が自然とそれぞれの特性をいかし、補完しながら目標に向き合う姿が見られるようになりました。



自分の力・可能性に気づく

アンケートを取ってみたり、挨拶運動を始めたり、自ら考えたことをすぐに行動に移して確認するということを繰り返したことで、「自分が動いたら、変化を起こせる」、ということ子どもたち自身が体感することができました。

教員も成長できる

主体的な行動や思考につなげるための声のかけ方、個人・グループそれぞれへの支援の在り方など、活動期間中は、児童だけでなく、教員も試行錯誤の連続でした。授業や活動の進め方、活動をサポートするためのツールなど、今後の指導にいかしたいと思います。